

北アルプス 白馬乗鞍岳 山スキー

坂井／斎藤(健)

【日時】2008年12月21日(土)～22日(日)

【ルート】榑池高原スキー場～天狗原～白馬乗鞍岳

【メンバー】田辺(利)、中村、坂井、斎藤(健)

■12/21(土) 晴れ

今回は私にとって初の山スキーで、入門編ということで参加させていただいた。ゴンドラからテン場まで、早速山スキーレッスンで、シールの貼り方、シールスキーでの歩き方を教えていただいた。シールスキー歩行は草履歩きがよいとのことだが、ついハの字の効率悪い歩き方になってしまい、どんどんみんなから引き離されてしまった。

テント設営後、テン場裏の斜面を軽くすべりに行くことになった。ほどよい時間まで上った後、シールをはがして待望の滑り開始。いざ滑り始めたが、ゲレンデと勝手が違いすぎて全然滑れず、方向転換と斜滑降を教えていただき、なんとかテントに戻った。

結局1日目は“滑れ”なかった。

雪山入門として、1日目は雪上でのテント設営やトイレの作り方なども教えていただいた。(坂井)



「初心者でも大丈夫だよ。」の利香さんの言葉にひかれて参加。

この日は、榑池高原スキー場のゴンドラ終点から林道を30分ほど行ったところにある、早大小屋裏の広い雪原、神ノ田圃にテントを張る。整地の仕方、トイレの作り方など、いろいろと教えてもらう。

夕方、裏山の藪を軽く散策。しばらく、雪が降っていなかったせいか、スキーに引かかる感じの雪で、何度も転びながら藪の中を滑り降りてきた。坂井さんが苦勞して降りてくるのを待つ間、パウダーセンサーを完備している利香さんが見つけた、ちょびつとパウダーにスキーの後ろ半分だけをつけ、シーズン始めの雪の感触を楽しんだ。

今回、利香さんが、”Xmas ハクノリ”というので、衣装は赤で、帽子はサンタ帽。途中で、写真を撮られたりしたが、ヒゲのないサンタはどこか変。来年は、ヒゲも用意しなきゃいけないなあ。

(斎藤)

■12/22(日) 晴れ

朝のんびりと3時間かけて準備をしてハクノリに向け出発。4人で出発したが、私の歩きが遅いため、途中2Pに分かれて私は目標天狗平までということになり利香さんと行くことになった。いろいろ登りのアドバイスを受けながらなんとか天狗平の入り口に到着。豆粒ほどの青と赤の男性2名がはるか先のハクノリの斜面を登っているのを見ながら、一足先に下ることになった。上の方は藪も木もそんなにないのでなんとか滑れたが、途中から木が出てきてまた時間をかけてしまった。途中で方向転換の練習もしながら林道近くの小屋に着いたときに山頂Pに追いつかれた。2日目は少しだけ滑れて、一部パウダーも見ることができた。



テン場に戻ったあと、少しビーコンの練習をした。最後に作った、粉のカフェモカとレモンティーをかけたパウダー×パウダーカキ氷がおいしかった。

今回の山行で、改めて自分の体力技術のなさが分かった。山スキーは今後続けていきたいが、雪山歩きやゲレンデスキーでもっと鍛えてから出直そうと思った。最後に、リーダー利香さんと中村さんと斎藤さんにはとてもお世話になりました。ありがとうございました。(坂井)

天気予報で、低気圧の接近を伝えていたので天気が心配だったが、朝起きてみると、



この日も晴れ。朝焼けに染まる雪原がとってもきれいだ。

出発前に、利香さん、中村さんに、スキーの修理道具や医薬品などの装備をあれこれ紹介してもらおう。いざというときの準備を入念に行っている二人に感心。

スキー場のアナウンスが聞こえ出す頃、乗鞍岳に向けて出発。歩きやすい雪を快調にとばす。天狗原で一本とり、乗鞍岳の斜面にとりかかる。風が少し出てきたのと、雪がだんだん締まってきたので慎重に歩みを進める。程なく、乗鞍岳の頂上に到着するが、風が強い。登ってきた斜面以外に、よさそうな斜面はないかなと、山の反対側を中村さんと偵察に行くが、やはり、登ってきた斜面が一番簡単そうだ。シールをはがして滑降開始。中村さんは気持ち良さそうに小回りターンで滑っていく。僕は、適当な中回り。途中、ちょっとした凸凹で体勢を崩したりして、滑りは散々だったが、” やっぱり大きくて広い斜面は楽しい” と思った。

テントに戻った後、ビーコン訓練をしたり、新スイーツ・パウダーinパウダーを食べたりして楽しんだ後、帰路についた。

中村さん、利香さん、坂井さん、二日間にわたり楽しい山スキーをありがとうございました。(斎藤)

【行程】

12/21(土) 榎の森(13:30)－神ノ田圃(14:00/15:00)－裏山(15:30/45)－神ノ田圃
(16:30)

12/22(日) 神ノ田圃(7:45)－天狗原(9:30)－乗鞍岳(10:30/11:00)－神ノ田圃
(12:00/13:00)－榎の森(13:30)

【地形図】 白馬岳